

令和7年4月1日

市の公益や振興発展に尽力された方を表彰します ～令和7年福島市功労表彰 被表彰者の決定、表彰式の開催～

令和7年福島市功労表彰の被表彰者を下記及び別紙のとおり決定し、表彰式を下記のとおり挙行します。

なお、被表彰者の顔写真データはメールで送付いたしますので、下記担当までご連絡ください。

記

1 被表彰者

(1)特別功労章

該当者なし

(2)功 労 章 功績は別紙のとおり

6名

	氏名	地区	部門
1	おおつき ひろし 大槻 弘	本内	自治
2	かねだ こ 金田 いく子	野田町	保健福祉
3	すずき けい 鈴木 敬	土湯温泉町	保健福祉
4	たかはし さちこ 高橋 佐智子	岡部	保健福祉
5	たけうち まゆみ 竹内 真弓	北中央	保健福祉
6	おかの まこと 岡野 誠	腰浜町	保健福祉

2 表彰式

日 時:4月18日(金) 午前11時より

会 場:ホテル福島グリーンパレス 瑞光の間(予定)

内 容:表彰状及び功労章の授与、あいさつ(市長、来賓、受章者代表)

福島市功労表彰

市の公益及び振興発展に尽くし、その功労が顕著である者を表彰するもので、市の行う最高の表彰。条例に基づき、福島市功労表彰審査会に諮って決定する。

担当:総務課 総務係

課長 秋葉 、 課長補佐兼係長 菅野

電話 024-525-3701(直通)

【功労章】

大 槻 弘 様

地区（年齢）

本内（８２歳）

功績（自治）

平成２５年３月から現在まで、南本内振興会会長として、町会活動を指導し、住民自治活動の発展に努めた。その間、平成２５年６月から平成２６年６月まで鎌田地区自治振興協議会副会長を１年間、また、平成２６年６月から現在まで鎌田地区自治振興協議会会長を務め、地区の振興を図り市政の発展に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

金 田 い く 子 様

地区（年齢）

野田町（７４歳）

功績（保健福祉）

平成１６年１２月１日に民生委員・児童委員に就任以来２０年余の長きにわたり社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立った相談、援助を行い、社会福祉の増進に努めた。

この間、所属する第六方部民生児童委員協議会において、平成２５年１２月１日に副会長に選任、令和４年１２月１日には会長に選任され、１１年余にわたり方部会長・副会長として協議会活動の円滑化・活性化を図るとともに、方部委員の相互連絡体制の強化にその能力を遺憾なく発揮し、各委員の良き相談役となった。豊富な活動経験を基に積極的に助言、指導を行うなど、社会福祉事業に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

鈴 木 敬 様

地区（年齢） 土湯温泉町（75歳）

功績（保健福祉）

平成16年12月1日に民生委員・児童委員に就任以来20年余の長きにわたり社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立った相談、援助を行い、社会福祉の増進に努めた。

この間、所属する土湯方部民生児童委員協議会において、平成22年12月1日から平成25年11月30日、令和元年12月1日から令和4年11月30日まで会長を務め、平成25年12月1日から令和元年11月30日、令和4年12月1日から現在まで副会長を務めるなど、14年余にわたり方部会長・副会長として協議会活動の円滑化・活性化を図るとともに、方部委員の相互連絡体制の強化にその能力を遺憾なく発揮し、各委員の良き相談役となった。豊富な活動経験を基に積極的に助言、指導を行うなど、社会福祉事業に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

高 橋 佐智子 様

地区（年齢） 岡部（72歳）

功績（保健福祉）

平成16年12月1日に民生委員・児童委員に就任以来20年余の長きにわたり社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立った相談、援助を行い、社会福祉の増進に努めた。

また、令和4年12月1日に東部方部民生児童委員協議会会長に選任されてからは、協議会活動の円滑化・活性化を図るとともに、方部委員の相互連絡体制の強化にその能力を遺憾なく発揮し、各委員の良き相談役となった。豊富な活動経験を基に積極的に助言、指導を行うなど、社会福祉事業に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

竹 内 真 弓 様

地区（年齢）

北中央（71歳）

功績（保健福祉）

平成5年4月から令和6年3月31日まで庭塚小学校校医および庭塚幼稚園園医、平成15年4月から令和6年3月31日まで野田小学校校医、平成28年1月から同年3月31日まで土湯小学校校医、平成29年7月から平成30年3月31日まで蓬萊中学校校医（いずれも内科）として、延べ31年間学校医を務めた。

その間、児童生徒の内科検診・予防接種等を行う中で健康状態の把握と事後処置への適切な助言指導を行なった。特に健康診断時には、保健室にてその時々の健康問題について情報提供されるなど積極的な意思疎通に努めた。

また、福島市健康管理検討委員会委員として平成23年10月より現在まで放射能の影響や震災に関わる子どもたちの健康について、市民に対し、福島市とともに幾度となく講演活動を行い、放射能の理解と不安解消、更には子どもの健全な発育の普及活動に努めるなど、保健衛生の向上に尽力した功績は誠に大きい。

【功労章】

岡 野 誠 様

地区（年齢）

腰浜町（76歳）

功績（保健福祉）

平成16年4月より福島市医師会監事に就任、平成22年4月から平成28年6月まで副会長、平成28年6月28日より会長として令和6年6月24日まで4期8年にわたり常に組織活動の中心として卓越なる識見と指導力を発揮し、積極的に事業を推進、医師会活動を通じ地域医療に寄与した。

福島市医師会長在任中は、新型コロナウイルス感染症が流行し、世間が混乱を極める中、医師会会員への丁寧な説明を重ね、コロナ疑い患者の検査、診療を行う医療機関の登録促進に寄与し、市民が発熱しても安心して医療を受けられる地域医療体制づくりに大きく貢献され、その功績は顕著である。

また、これから迎える超高齢化社会に求められる医療の在り方を先読み、在宅医療の推進に注力し、多職種連携の組織、福島市医療と介護のネットワークを令和4年6月に設立し、その代表として顔の見える関係の構築に尽力され、地域で支え合う土壌づくりを医療・介護の現場に広められた。

以上のとおり、医師会等の役員を長年にわたり歴任し、地域福祉の向上と地域医療の充実に貢献するとともに、市勢の発展に特に寄与した功績は誠に大きい。